



SPFレコード・DKIM署名・DMARC 設定方法

AgentMAIL／ラブレターテンプレート単体プラン

なぜDKIM署名の設定が必要なの？

Gmailのサポートページを確認したことはありますか？

<https://support.google.com/mail/answer/81126>

上記URLから確認できますが、右側に画像も添付しておきます。

2023年10月にこちらのページが更新されました。

『**2024年2月以降、Gmailアカウントに1日あたり5,000件を超えるメールを送信する送信者は、送信ドメインにSPFレコード・DKIM署名・DMARCメール認証の設定が必要です**』と、記載があります。

SPFレコード・DKIM署名・DMARCメール認証が未設定の場合、メールが想定通りに配信されなかったり、迷惑メールに分類される可能性がある。
と記載されていますが、
この設定をしないと、今後Gmailにはメールが届かないと思った方がいいです。

SPFとは、メールマガジンの送信元情報を保証する技術。

DKIMとは、メールマガジンの信頼性を保証する技術。

DMARCとは、SPFレコードやDKIM署名での認証に失敗したときにそのメールをどのように処理するのかを設定をする仕組み。

メールの安全性を保証するこれらの設定を行っておけば、

メールマガジンの受信精度の向上に繋がり、しいては開封率の向上にも繋がります。

SPFやDKIMは、宛先がGmailのメールアドレスに対してだけの技術でなく一般的な技術となりますので、他のメールアドレスに対しても有効となります。

AgentMAILに限らず、

メールマガジン配信サービスを使用する時には必ず設定すべき設定となります。

メール送信者のガイドライン

重要: Gmail では 2024 年 2 月以降、Gmail アカウントに 1 日あたり 5,000 件以上のメールを送信する送信者に対し、1. 送信メールを認証すること、2. 未承諾のメールまたは迷惑メールを送信しないようにすること、3. 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにすること、の 3 つが義務付けられます。詳しくは、[1 日あたり 5,000 件以上のメールを送信する場合の要件](#)をご覧ください。

この記事のガイドラインに沿った対応を行うことで、個人用 Gmail アカウントにメールが正常に送信、配信されるようになります。個人用 Gmail アカウントとは、末尾が @gmail.com または @googlemail.com のアカウントを指します。

Google Workspace の送信者: Google Workspace を使用して大量のメールを送信する場合は、[Gmail での迷惑メールや不正行為に関する規定](#) をご確認ください。この規定は [Google Workspace 利用規定](#) の一部です。

送信者の要件の更新

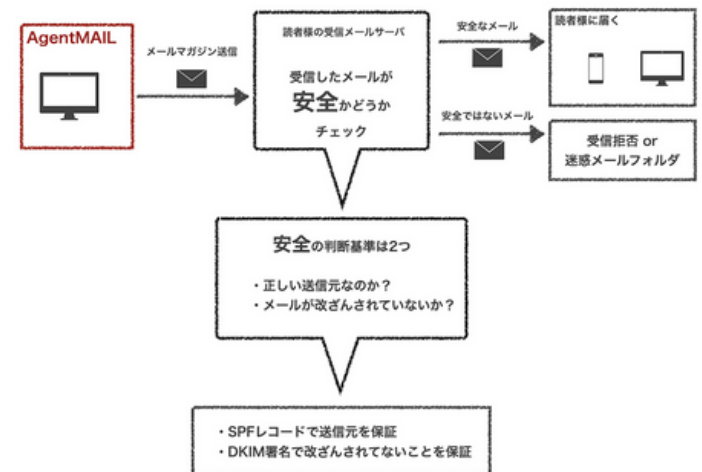
次の表は、送信者のガイドラインに対する更新の一覧です。

送信者の要件	追加日
メールの送信に TLS 接続を使用する	2023 年 12 月

送信者のガイドライン

以下のガイドラインに沿った対応を行うと、メールが Gmail アカウントに確実に配信されるうえ、Gmail で送信レートが制限されることや、メールがブロックされたり、迷惑メールに振り分けられたりすることを防ぐことができます。

これらの要件を満たす方法について詳しくは、[メール送信者のガイドラインに関するよくある質問](#)をご覧ください。



SPFレコード・DKIM署名の設定をしよう！

下記ステップの番号をクリックしたら、各ステップの1ページ目に移動できます。

Step1からStep5までを完了させる必要があります

※独自ドメインを取得済みで、既にメールアドレスをお持ちの方はStep2からスタートしてください

1

独自ドメインを取得して
メールアドレスをつくろう

2

SPFレコードを設定しよう

3

DKIM署名を設定しよう

4

メールマガジンの差出人
メールアドレスに設定しよう

5

DMARCの設定をしよう

SPFレコード、DKIM署名、DMARCは、ドメインに関する設定となります。
Gmailやyahoo等のメールアドレス、プロバイダ発行のメールアドレスでは行えません。

そこで、自分が管理できるドメイン（独自ドメイン）が必要となります。
そして独自ドメインのメールアドレスを作成し、SPFレコード設定、DKIM署名設定を行った上で、
メールマガジンの差出人メールアドレスとして設定することで、SPFレコード設定やDKIM署名設定が初めて有効な設定となります。

普段の生活でよく聞く言葉ではないため、難しいと感じるかもしれませんが、
ステップ毎に一つずつ設定していけば必ずできますので、お時間がある時に余裕をもって取り組んでみましょう！！

準備！

DKIM署名を設定したいプロジェクトを選択して、AgentMAILのTOPページを開いておいてください。
そして、新しいタブで次のStep1からを設定していきましょう。

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう1

【手順1】エックスサーバーに登録しよう！

今回はXserver (エックスサーバー)という会社を例に説明をしていきます。
必ずこちらの会社を使用する必要はありません。好きな会社と契約していただいて構いません。

Xserver !今村海のおすすめポイント!!

- ①**独自ドメイン永久無料特典**がついている (条件あり [詳細を確認する](#))
- ②**お得なキャンペーン**をよくやっている
- ③**管理画面がシンプル**で使いやすい
- ④ドメインはここ、サーバーはこっち、と安い会社を見つけるのも1つの手だが、**まとまっている方が管理がしやすい**

ファーストステップ!

まずはアカウントを作成するところからスタート。

『**10日間無料お試し 新規申し込み**』をクリックして先へ進もう！プランは一番安い**スタンダードプラン**でOK。
無料お試し期間中に動作を確認して問題がなければ、本契約手続きをしましょう！
(独自ドメイン永久無料特典を受ける為には本契約を完了させる必要があります。)

① お申し込みページに進む

Xserver

[お申し込みはこちら](#)

ワンポイントアドバイス

独自ドメインを取得済みで、既にメールアドレスをお持ちの方はStep2からスタートしてください。独自ドメインは取得しているけれど、メールアドレスの設定がまだの方は10ページからスタートしてください。

② 「10日間無料お試し 新規お申し込み」をクリック

Xserver レンタルサーバー お申し込みフォーム

2023年10月2日(月)12:00まで
最大 **30%OFF** 月額 **693円**~

初めてご利用のお客様

10日間無料お試し 新規お申し込み

XserverアカウントIDをお持ちのお客様

XserverアカウントID または メールアドレス
pxx12345/sample@example.com

パスワード

パスワードをお忘れの方は[こちら](#)

ログイン

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 2

【手順2】独自ドメイン永久無料特典の申請をして、独自ドメインを取得しよう！

① X serverにログイン

Xserver レンタルサーバー

Xserverアカウント ログイン

会員情報やご利用状況の確認や、サーバーパネル/ファイルマネージャ等の各種ツールを利用することができます。

メールアドレス

XserverアカウントIDでもログインできます

パスワード

ログインする

パスワードを忘れてしまった方は[こちら](#)

② 「10日間無料お試し 新規お申込み」をクリック



サイドメニューの『各種特典お申し込み』をクリック

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 3

【手順 2】 独自ドメイン永久無料特典の申請をして、独自ドメインを取得しよう！

③ 希望するドメインを入力

- 新規取得…ドメインの新規取得をする場合
- 移管申請…他社からドメイン移管をご希望の場合

※サーバーが本契約となり、独自ドメイン永久無料特典申し込み対象の場合、申請フォームが表示されます。

④ 確認・独自ドメイン永久無料特典申請

ドメイン名に誤りがないか確認のうえ、
「選択したドメインの取得申請をする」をクリック。

※ドメイン取得後は、ドメイン名を変更できません。

詳細はX severのサイトでご確認ください → <https://www.xserver.ne.jp/bizhp/create-email-address/>

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 4

【手順3】 独自ドメインを使うための設定をサーバーに追加しよう

① 「サーバーパネル」にログインする

トップページ内、サーバー契約の右側にある、「サーバー管理」をクリック。



② ドメイン設定をクリック

サーバーパネルのトップページに並んでいるメニューのなかから、「ドメイン設定」をクリック



詳細はX severのサイトでご確認ください → <https://www.xserver.ne.jp/bizhp/create-email-address/>

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 5

【手順3】 独自ドメインを使うための設定をサーバーに追加しよう

③ 「ドメイン設定追加」をクリック

「ドメイン設定追加」をクリック

ドメイン設定 [関連マニュアル](#)

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。

[ドメイン設定一覧](#) [ドメイン設定追加](#)

ドメイン名	初期化	削除
	初期化	削除できません
	初期化	削除
	初期化	削除
	初期化	削除
	初期化	削除

④ 「確認画面へ進む」をクリック

取得したドメイン名を「.com」「.net」などまで入力し、「確認画面へ進む」をクリック。

ドメイン設定 [関連マニュアル](#)

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。

[ドメイン設定一覧](#) [ドメイン設定追加](#)

ドメイン名

例) example.com/xserver-sample.com

無料独自SSLを利用する (推奨)

高速化・アクセス数拡張機能「Xアクセラレータ」を有効にする (推奨)

[確認画面へ進む](#)

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 6

【手順3】 独自ドメインを使うための設定をサーバーに追加しよう

④ 「確認画面へ進む」をクリック

入力したドメイン名を確認し、間違いがなければ、「追加する」をクリック。

ドメイン設定 [関連マニュアル](#)

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアドレスやFTPアカウントを作成することができます。

> ドメイン設定一覧 ▼ ドメイン設定追加

以下のドメイン設定を追加しますか？

ドメイン名	exampe.com
無料独自SSL設定	追加
Xアクセラレータ	有効にする

[戻る](#) [追加する](#)

以上で独自ドメインを使うための設定は完了です。
次に、メールアドレス作成に進みます！

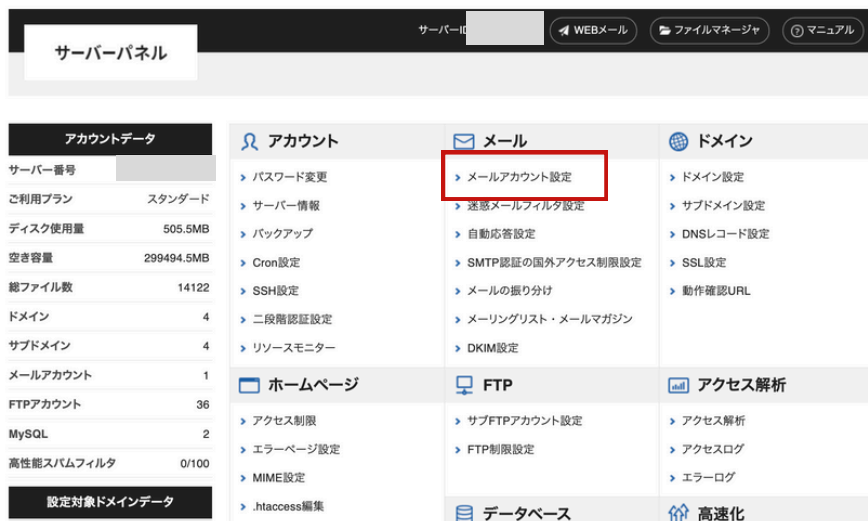
Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう7

【手順4】メールアカウントを設定しよう

① 「メールアカウント設定」をクリックする

サーバーパネルにログインして、
「メールアカウント設定」をクリック。



② ドメインを選択する

メールアカウントを設定するドメインを選択しましょう。

ドメイン選択画面

メールアカウントを設定するドメインを選択してください。

0-9 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | 日本語

ドメイン名	メールアカウント	
すべてのドメイン	1個	選択する
	0個	選択する
	0個	選択する
	1個	選択する

Step 1

独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 8

【手順4】 メールアカウントを設定しよう

③ 「メールアカウント追加」をクリック

「メールアカウント追加」をクリック

ワンポイントアドバイス

メールアカウントでは、自由に文字列を設定できます。
よく利用されるメールアカウントは、以下を参考にしてみてください

- info@ … 製品やサービスの一般的な情報やお問い合わせに関するメール
- support@ … カスタマーサポートなど、顧客対応に使用するメール
- sales@ … 製品の購入に関するメール
- admin@ … 社内のシステム管理に用いられるメール
- [名前]@ … メンバーごとに割り当てられるメール
(例) 山田太郎さんの場合：「t.yamada」や「yamada」など

④ メールアカウントの情報を入力

メールアカウントの情報を入力し「確認画面へ進む」をクリック

【パスワード】
任意のパスワードを設定しましょう。

【容量】
ひとまず変更は不要です。

【コメント】
メールアドレスの用途などを記載しておく便利です。

確認へ進み「追加する」ボタンをクリックで設定は完了です。

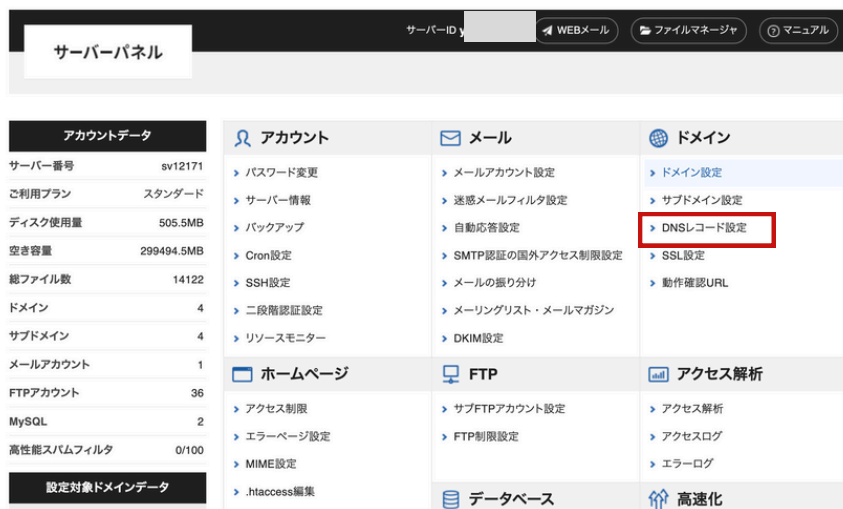
詳細はX severのサイトでご確認ください → <https://www.xserver.ne.jp/bizhp/create-email-address/>

Step 2

SPFレコードを設定しよう1

① 「DNSレコード設定」をクリック

サーバーパネルへログインし「DNSレコード設定」をクリック



② ドメインを選択

設定したいドメインの「選択する」ボタンをクリック

ドメイン選択画面

DNSレコードを設定するドメインを選択してください。

0-9 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | 日本語

ドメイン名	
[Redacted]	選択する
[Redacted]	選択する
[Redacted]	選択する
[Redacted]	選択する
[Redacted]	初期ドメインは選択できません

Step 2

SPFレコードを設定しよう2

③ 「DNSレコード一覧」をクリック

「DNSレコード一覧」をクリック

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▼ 使用前のご注意 > **DNSレコード一覧** > DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン ▼ 変更

! この機能は上級者向けの機能です
エクスサーバーで独自ドメインを利用する上で、本機能の利用は通常は必要ありません。
外部サービスなど複数サービスで対象ドメインを使用する場合に本機能をご利用ください。

④ 種別を確認しよう

【種別】と書かれた列を見てください。
ここに『TXT』という種別がある場合とない場合でこの後の設定が変わります。

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

> 使用前のご注意 ▼ **DNSレコード一覧** > DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン ▼ 変更

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度	変更	削除
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	MX	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	TXT	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除

Step 2

SPFレコードを設定しよう3

『TXT』という種別がない場合の説明

TXTがない場合

⑤ 「DNSレコード追加」をクリック

「DNSレコード追加」をクリック

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

[使用前のご注意](#) [DNSレコード一覧](#) [DNSレコード追加](#)

○ 設定対象ドメイン [変更](#)

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度	変更	削除
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除
<input type="text"/>	MX	<input type="text"/>	3600	0	変更	削除

⑥ 種別を確認しよう

次の情報を入力してください。

- ・ホスト名 無記入（空白のまま）
- ・種別 TXT を選択
- ・内容 v=spf1 include:agml.jp ~allと設定
- ・TTL 変更しません
- ・優先度 変更しません

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

[使用前のご注意](#) [DNSレコード一覧](#) [DNSレコード追加](#)

○ 設定対象ドメイン [変更](#)

ホスト名

種別

内容

TTL

優先度

[確認画面へ進む](#)

Step 2

SPFレコードを設定しよう 3

『TXT』という種別がある場合の説明

TXTがある場合

5 「変更」をクリック

種別『TXT』の「変更」をクリック

DNSレコード設定

関連マニュアル

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

使用前のご注意

DNSレコード一覧

DNSレコード追加

設定対象ドメイン [] 変更

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度	変更	削除
[]	A	[]	3600	0	変更	削除
[]	A	[]	3600	0	変更	削除
[]	A	[]	3600	0	変更	削除
[]	MX	[]	3600	0	変更	削除
[]	TXT	[]	3600	0	変更	削除

6 内容にAgentMAILの情報を入力しよう

- ホスト名 無記入（空白のまま）
- 種別 TXTのまま
- 内容 include:agml.jpを~allの直前に挿入し、include:agml.jpと~allの間に半角スペースを挿入
- TTL 変更しません
- 優先度 変更しません

入力できたら「確認画面へ進む」をクリックして完了です。
保存が完了したら、そのページを開いた状態でAgentMAILへ移動します。

DNSレコード設定

関連マニュアル

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

使用前のご注意

DNSレコード一覧

DNSレコード追加

設定対象ドメイン []

ホスト名 []

種別 [TXT]

内容 [v=spf1 + []]

TTL [3600]

優先度 [0]

戻る 確認画面へ進む

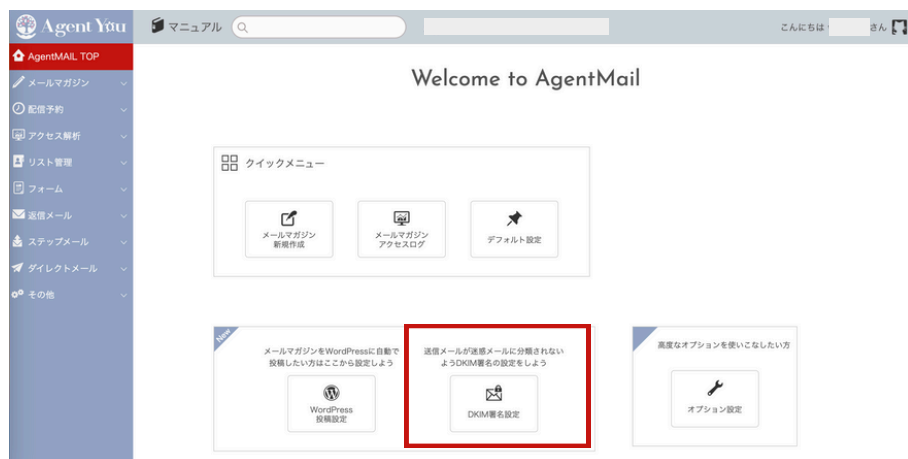
Step3

DKIM署名を設定しよう1

AgentMAILの場合

① 「DKIM署名設定」をクリック

AgentMAILのTOPの「DKIM署名設定」をクリック



② 「DKIM署名新規作成」をクリック

一番上の「DKIM署名新規作成」ボタンをクリック



③ DKIM署名新規追加画面で必要事項に入力しよう

・ドメイン名

先ほど作成したドメイン名を入力。
作成したメールアドレスの@の右側でも確認できます。

・セクター

1つのドメインに複数のDKIM署名を設定できます。
それぞれを識別しやすいように名前をつけましょう。
半角英数字で入力してください。
保存後、最後尾にagmlsという文字列が追加されます。

The screenshot shows the 'DKIM署名の新規追加' form. It has two input fields: 'ドメイン名' and 'セクター'. Below the 'ドメイン名' field, there's a small note: 'メールアドレスの@の右側の文字列がドメイン名です。' Below the 'セクター' field, there's a small note: 'プロジェクトの名前に沿った文字列にすると管理しやすいです。' At the bottom right, there is a red '保存する' button.

Step3 DKIM署名を設定しよう1

ラブレターテンプレート単体の場合

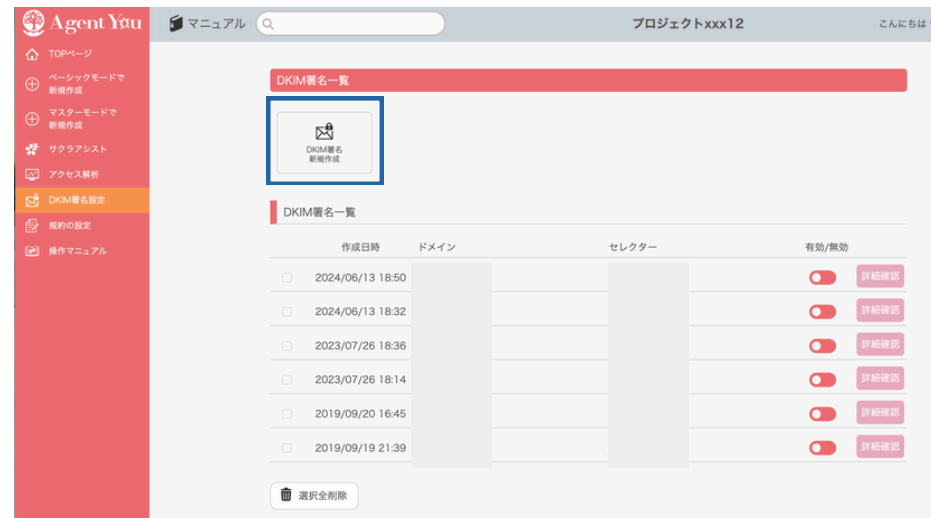
① 「DKIM署名設定」をクリック

ラブレターテンプレート単体プランのみ
TOPページのサイドメニュー「DKIM署名設定」をクリック



② 「DKIM署名新規作成」をクリック

一番上の「DKIM署名新規作成」ボタンをクリック



③ DKIM署名新規追加画面で必要事項に入力しよう

- **ドメイン名**
先ほど作成したドメイン名を入力。
作成したメールアドレスの@の右側でも確認できます。
- **セクター**
1つのドメインに複数のDKIM署名を設定できます。
それぞれを識別しやすいように名前をつけましょう。
半角英数字で入力してください。
保存後、最後尾にagmlsという文字列が追加されます。

The screenshot shows the 'DKIM署名の新規追加' (Add New DKIM Signature) form. It has two input fields: 'ドメイン名' (Domain Name) and 'セクター' (Sector). The 'ドメイン名' field has a placeholder text: 'メールアドレスの@の右側の文字列がドメイン名です' (The characters to the right of the @ in the email address are the domain name). The 'セクター' field has a placeholder text: 'プロジェクトの名前に沿った文字列にすると管理がしやすいです (半角英数字で入力)' (Using characters corresponding to the project name makes management easier (use half-width alphanumeric characters)). A red '保存する' (Save) button is at the bottom.

Step3 DKIM署名を設定しよう2

④ DKIM署名詳細管理ページを確認

DKIM署名新規追加ページで「保存する」をクリックすると、DKIM署名詳細管理画面に移動しますので、このページを開いた状態にしておいてください。

DKIM署名詳細管理

DKIM署名のステータス

ステータス: DNSレコードが反映されるまでには、最大48時間かかることがあります。もう少しお待ちください。

DKIM署名の基本情報

ドメイン名: agentmail.jp

セクター: [Redacted] ※ 実際に設定された文字列の後に「agms」が付与されています。

DNSレコード

ホスト名	タイプ	内容
[Redacted]	TXT	v=DKIM1; h=rsa-sha256; k=rsa; p=MIGfMA0GCsGqSIlb3DQEBAA4GNADCBiQKBgQC2Jt0TjmvC9dDdtR5sod1vfm8auIQjkXvqar3R+6SIQqs3EmBpArI2EUYLmdSNX6hWZcVYkiwT/05TV9ZVX4rMifaWcM7yRergHCta03WUJpw9pBEB+NU1cCT68BBWryuCP+Z23zXYwZR0q3MCa0CuYgVRwRLwzcgynwi902mQIDAQAB

DNSレコード

dk1agms_domainkey IN TXT "v=DKIM1; h=rsa-sha256; k=rsa; p=MIGfMA0GCsGqSIlb3DQEBAA4GNADCBiQKBgQC2Jt0TjmvC9dDdtR5sod1vfm8auIQjkXvqar3R+6SIQqs3EmBpArI2EUYLmdSNX6hWZcVYkiwT/05TV9ZVX4rMifaWcM7yRergHCta03WUJpw9pBEB+NU1cCT68BBWryuCP+Z23zXYwZR0q3MCa0CuYgVRwRLwzcgynwi902mQIDAQAB"

編集する

⑤ Xseverに戻る

AgentMAILは開いた状態で、別のタブで開いたままにしておいたXseverに戻りましょう。

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

使用前のご注意 | DNSレコード一覧 | DNSレコード追加

[Redacted] ドメインにて、DNSレコードの変更が完了しました。

戻る

Xseverを閉じてしまった方は、サーバーパネルにログインをして「DNSレコード設定」をクリックし、設定するドメイン名の「選択する」をクリック。

サーバーパネル

サーバーID: [Redacted] | WEBメール | ファイルマネージャ | マニュアル

アカウントデータ	アカウント	メール	ドメイン
サーバー番号: [Redacted]	パスワード変更	メールアカウント設定	ドメイン設定
ご利用プラン: スタンダード	サーバー情報	迷惑メールフィルタ設定	サブドメイン設定
ディスク使用量: 505.5MB	バックアップ	自動応答設定	DNSレコード設定
空き容量: 299494.5MB	Cron設定	SMTP認証の国外アクセス制限設定	SSL設定
総ファイル数: 14122	SSH設定	メールの振り分け	動作確認URL
ドメイン: 4	二段階認証設定	メーリングリスト・メールマガジン	
サブドメイン: 4	リソースモニター	DKIM設定	
メールアカウント: 1			
FTPアカウント: 36	ホームページ	FTP	アクセス解析
MySQL: 2	アクセス制限	サブFTPアカウント設定	アクセス解析
高性能スパムフィルタ: 0/100	エラーページ設定	FTP制限設定	アクセスログ
	MIME設定		エラーログ
	.htaccess編集	データベース	高速化

Step 3

DKIM署名を設定しよう3

⑥ 「DNSレコード追加」をクリック

「DNSレコード追加」をクリック



もしくは、下記の画面。



⑦ AgentMAILの情報をXserverに入力する

AgentMAILに記載されている情報(ホスト名・種別・内容)をコピーしてXserverにペーストしたら「確認画面へ進む」をクリックし、追加が完了となります。



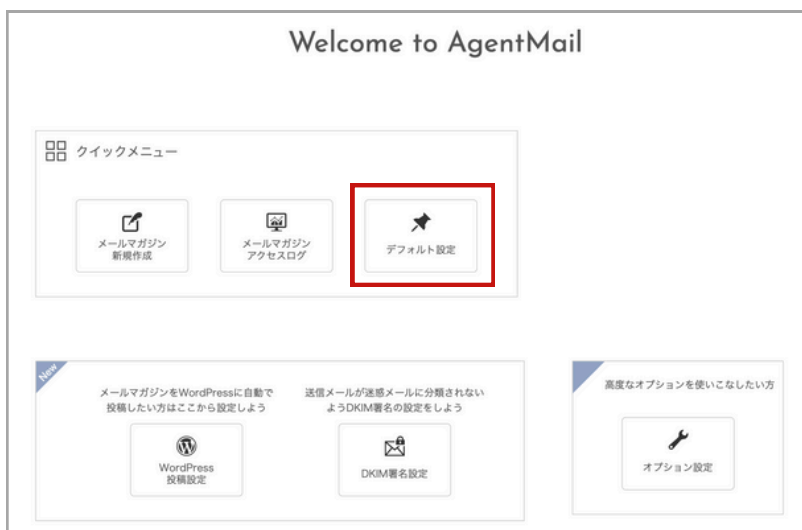
Step4

メールマガジンの差出人メールアドレスに設定しよう

AgentMAILの場合

① メールマガジンの差出人メールアドレスに設定

AgentMAIL TOPページの「デフォルト設定」をクリック



ワンポイントアドバイス

デフォルト設定を使用しない場合は、メールマガジン新規作成ページの差出人メールアドレスに、先ほど作成したメールアドレスを設定し「その他の設定」の中にあるDKIM署名の『使用する』を選択、設定することを忘れないでください。

② 作ったメールアドレスを設定する

差出人メールアドレスを、先ほど作成したメールアドレスに変更し、DKIM署名の「使用する」を選択して設定して保存ボタンをクリック。

メールマガジンのデフォルト設定の編集

デフォルト設定 使用しない 使用する

差出人名

差出人メールアドレス

バックナンバー 公開しない 公開する

定型文

ヘッダー定型文 使用しない 使用する

フッター定型文 使用しない 使用する

メールフレーム 使用しない 使用する

スマートフィルター 使用しない 使用する

DKIM署名 使用しない 使用する

選択してください

Step4

返信メールの差出人メールアドレスに設定しよう

ラブレターテンプレート単体の場合

① フォーム作成に移動

ラブレターテンプレートのTOPページから新規作成、もしくは作成済み一覧から編集をスタート。
サイドメニューの「フォーム作成」をクリック



返信メールの差出人メールアドレスに設定

サイドメニューの設定タブにある返信メールをクリック。
差出人メールアドレスに、先ほど作成したメールアドレスを入力し、DKIM署名の「使用する」を選択してフォームを保存したら完了。

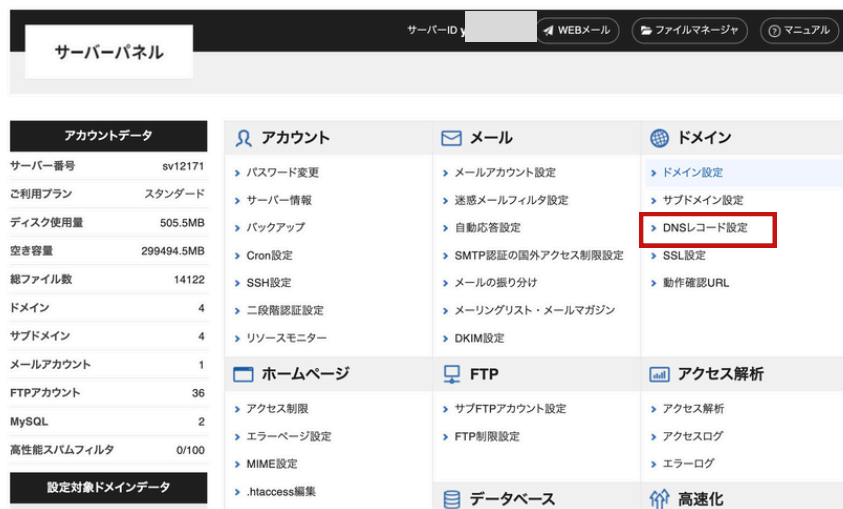


Step5

DMARCの設定をしよう

① 「DNSレコード設定」をクリック

サーバーパネルへログインし「DNSレコード設定」をクリック



② ドメインを選択

設定したいドメインの「選択する」ボタンをクリック

ドメイン選択画面

DNSレコードを設定するドメインを選択してください。

0-9 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | 日本語

ドメイン名	
[Redacted]	選択する
[Redacted]	選択する
[Redacted]	選択する
[Redacted]	選択する
[Redacted]	初期ドメインは選択できません

Step5

DMARCの設定をしよう

③ 「DNSレコード追加」をクリック

「DNSレコード追加」をクリック

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

[▼ 使用前のご注意](#) [▶ DNSレコード一覧](#) [▶ DNSレコード追加](#)

○ 設定対象ドメイン [変更](#)

! この機能は上級者向けの機能です
エクスサーバーで独自ドメインを利用する上で、本機能の利用は通常は必要ありません。
外部サービスなど複数サービスで対象ドメインを使用する場合に本機能をご利用ください。

④ 設定しよう

- ホスト名 `_dmarc`
- 種別 `TXT`
- 内容 `v=DMARC1; p=none;`
- TTL `変更しません`
- 優先度 `変更しません`

入力できたら「確認画面へ進む」をクリックして完了です。

DNSレコード設定 [関連マニュアル](#)

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

[▶ 使用前のご注意](#) [▶ DNSレコード一覧](#) [▼ DNSレコード追加](#)

○ 設定対象ドメイン [変更](#)

ホスト名 <small>?</small>	<input type="text"/>
種別	<input type="text" value="A"/>
内容 <small>?</small>	<input type="text"/>
TTL <small>?</small>	<input type="text" value="3600"/>
優先度 <small>?</small>	<input type="text" value="0"/>

[確認画面へ進む](#)

最後に、DNSレコードが反映されたかを確認しよう！

最後に、確認してみよう！！

DNSレコードが世の中（世界中）に反映されるまで、最大48時間ほど必要です。DKIM署名の詳細確認ページで反映されたかを確認することができます。

反映が完了したら、

『**DNSレコードチェック完了しました。反映済みです。**』

と表示されます。

表示がされていない場合は、もうしばらく待ってから再度確認をしてみてください。

DKIM署名詳細管理

DKIM署名のステータス

ステータス

DNSレコードチェック完了しました。反映済みです。
反映済みとなっても、世界中に設定が反映されるまでは最大48時間ほど必要です。

ワンポイントアドバイス

【メールソフトの設定について】

独自ドメインを取得して、メールアドレスを作成し、差出人メールアドレスに設定完了！「あれ？もしもこのメールアドレスに返信があった場合、どうやってその内容を確認したらいいんだろう？」

と思った方もいるのではないのでしょうか？

メールソフトの設定は下記URLをクリックして確認してください。

https://www.xserver.ne.jp/manual/man_mail_setting.php